

小笠・掛川地区事務局より

(地区としての意見にまとめられません。あげられた意見は報告します。)

### 1 小笠地区講習会について

① 例年実施している地区講習会（講演会）は今年度は中止した。

② 公開授業中心の小笠地区内での研修会

今年度、6名が新たに通級担当となった。（学齢言語3人、発達2人、幼児1人）コロナ禍の中、長時間の研修は避け、例年実施している各市ごとの研修会を中心として研修をしている。特に、新規担当者のために、日々の実践につながる研修をと考え、今年度は公開授業を中心に進め、研修の機会を確保した。

6月 西郷小学校にて言語通級 公開授業

9月 大坂小学校にて言語・発達通級 公開授業

12月 中央小学校にて発達通級 公開授業 予定

2 6月に北内幸子先生が急逝された。北内先生の存在は大きく、まだまだ一緒に研修をし、多くのことを学ばせていただきたかった。

残念ではあるが、指導は継続していかなければならない。新たな担当者を迎え、市内外の幼児ことばの教室担当の協力を得ながら、再スタートでき、ありがたい思いでいっぱいである。小笠地区の力を底上げしていかななくてはならないので、よりよい研修のあり方について考えていかなければならないと思っている。

### 3 今後の静言研のあり方について

今年度から担当になり、静言研の定例研を体験したこともない会員もいる中でアンケートを実施。地区としてまとめることはできないが、会員の声としてあげる。

①定例研について

ア 今年度の運営について

- ・リモートや YouTube 配信はありがたかった。（期間限定でなければ尚よい。）
- ・PW 資料もありがたかった。

イ 今後の定例研について

- ・貴重な研修・交流の場となるため可能な限り実施してほしい。
- （著名な講師の話聞けるのも静言研だからこそ）

**集うこと、顔を合わせる大切で意義がある** と考える。

→ 感染対策をしながら可能かどうか検討していく。

（地区ごと、昼食場所の工夫等）。

→地区講習会の運営を利用する。

地区講習会を間口を広める等で活性化したらどうか。

→顔を合わせての研修がやはり必要

人として集まって話をしたい。

悉皆研修ではできない、担当者だからこそその愚痴や苦勞など共有したい。（不可能ならば、リモートや紙面発表は無理しなくてよいのではないかとの意見もあり。）

→発表者となり準備もするが、研修会中止の場合、発表者の意向や希望を尊重してほしいとの意見あり。（顔を合わせた中で発表したい。）

② 地区講習会について

・貴重な研修・交流の場なので可能な限り実施したい。

人数的にも多くないので継続したい。

③ 東海4県について

各地区に通級が広がりかつての会の意義とは変化してきているのかもしれない。

各地区のことを知ることも大切だが、日々の実践に追われてしまっている。発表の機会を自分の振り返りの機会と前向きに考えればいいが、なかなかうまくいかないこともある。

小笠・掛川地区事務局

掛川市立西郷小学校 榛葉美哉子